



平成 24 年 12 月 14 日

各 位

会 社 名 O a k キャピタル株式会社
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 竹井 博康
(コード番号 3113 東証第二部)
問合せ先 広報・IR 室長 桐村 康司
(TEL. 03-5412-7700)

FM ラジオ放送を展開する軽井沢エフエム放送株式会社への資本参加のお知らせ

当社はこのたび、コミュニティ FM ラジオ放送を運営する軽井沢エフエム放送株式会社（以下、「FM 軽井沢」）の第三者割当増資を引き受け、同事業へ資本参加することを決定いたしました。その概要について、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 本件の目的

当社がこのたび FM ラジオ放送事業に投資をする目的は以下の通りです。

- ・ 全国に約 260 局あるコミュニティ FM ラジオ放送会社は、地域に密着した放送で親しまれているという強みを持っております。また、これら全国のコミュニティ FM 放送をインターネットで結ぶことにより、全国規模の聴取者向けに効果的な媒体価値として広く企業に提供することが可能となります。
- ・ 全国 260 局のコミュニティ FM ラジオをスマートフォンで聞くことが可能となり、成長が続くインターネット市場と同様に情報のプラットフォームとして「ラジオ版 SNS」の構築です。
- ・ 当社は FM 軽井沢をインターネット放送事業のモデルラジオ局として活用してまいります。
FM 軽井沢が拠点とする軽井沢町は東京 23 区の四分の一の面積をもちます。日本有数の避暑地として古くから内外著名人の別荘地として親しまれ、17,000 戸の別荘があるほか、東京から新幹線で約 1 時間の場所に立地し、観光客にとっても魅力のある町として、年間では 777 万人（平成 22 年度）の観光客が訪れます。
- ・ 当社は「インターネット放送事業」を事業プロジェクトとして展開すると共に、FM 軽井沢に対して事業支援を積極的に行っていく予定です。

2. 株式取得の方法

FM 軽井沢が実施する第三者割当増資を引き受けます。このたびの第三者割当増資により当社が保有する同社株式の所有比率は約 85% となり、総額 1 億円の投資を予定しております。

3. FM 軽井沢の会社概要（平成 24 年 3 月 31 日現在）

- (1) 商 号： 軽井沢エフエム放送株式会社
- (2) 代 表 者： 代表取締役会長 佐藤泰春
- (3) 所 在 地： 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1178-1186
- (4) 設 立： 平成 13 年 3 月 24 日
- (5) 主 な 事 業： ラジオ放送事業
- (6) 決 算 期： 3 月
- (7) 主要取引銀行： 八十二銀行
- (8) 資 本 金： 82 百万円

- (9) 発行済株式総数： 1,640株
 (10) U R L： <http://fm-karuizawa.net/>
 (11) 現大株主及び所有比率（増資前）

大株主	所有比率
株式会社森トラスト・ホールディングス	6.1%
信濃毎日新聞株式会社	4.9%
佐藤泰春	4.3%
株式会社アローリゾートコーポレーション	3.7%
信越放送株式会社	3.7%
東通インテレクト株式会社	3.7%
株式会社長野放送	3.7%
株式会社八十二銀行	3.0%

4. 今後の予定

- (1) 株式の払込期日：平成24年12月25日
 (2) 株式の譲受け：同上

5. Oakキャピタルの事業概要

投資事業

当社は新興市場に上場する企業ならびに中堅上場企業を対象に、企業価値向上に向けた「資本政策」に伴う資金調達および成長戦略の支援を目的としております。また、企業の優位性を活かした新たな事業の創出と投資を組み合わせた「事業プロジェクト投資」にも取り組み、投資先の企業価値向上と成長支援を実施しております。

ブランド投資

最高級シルバーウェアの世界的ブランドである、フランスの老舗メーカー「クリストフル」の日本法人や宮内庁御用達の老舗高級漆器販売の最大手「山田平安堂」に投資しております。

アドバイザー事業

国内外の企業向け経営戦略・事業戦略の成長支援コンサルティングを実施しております。

事業プロジェクト投資

企業向け事業の企画立案と事業資金の支援事業。現在推進中の「デジタル郵便事業プロジェクト」は次世代の郵便事業として、IT企業の株式会社フライトシステムコンサルティング（東証 M3753）、株式会社ソフトフロント（JQ 2321）及びオンデマンド印刷の東京リスマチック株式会社（JQ 7861）並びに株式会社日立システムズとの共同事業として開始されました。また、クリエイティブ素材については、株式会社アイフリーク（JASDAQ 3845）、画像処理において富士フィルムが参画しております。

6. 業績に与える影響

本件に伴う業績に与える影響は現時点では未定ですが、今後のインターネット放送事業の計画ならびにFM軽井沢の収益が当社に貢献すると考えております。本件が当社の業績に重大な影響を与えることが明らかになった場合には、速やかにお知らせいたします。

以上